



妻西中キャラ めにしちゃん

# 学び磨き鍛える

正しい判断力とたくましい実践力を  
もった妻沼西中生を育む学校

発行 熊谷市立妻沼西中学校  
電話 048(588)1361  
FAX 048(589)0496  
令和8年6月22日  
第7号

## 備前渠用水と伊奈備前守忠次について

校長 清水 利浩



備前堀（永井太田 鍛冶御堂堰付近）2025.07.12 撮影

妻沼西中学区を流れる**備前渠用水**は、「**備前堀**」の愛称で親しまれています。備前堀は、徳川家康が江戸幕府を開いてまもない1604（慶長9）年に、幕府の命令で、**伊奈備前守忠次**が中心となって開削した**埼玉県最古の用水路**です。備前堀という名称は、この備前守から呼ばれています。この用水は、本庄市で利根川から取水し、深谷市、熊谷市を流れ、利根川右岸の水田に水を供給する約23kmの農業用水です。今で

も素掘りの所が多くみられ、当時の面影を残しています。

伊奈備前守忠次は、安土桃山時代から江戸時代初期、徳川家康の側近として、関東地方の土地や農業政策の分野で大活躍しました。天文19年(1550)、三河国(現在の愛知県西尾市)に生まれ、子どもの頃より人並みはずれた頭脳で、志も高く、32歳で徳川家康に仕えました。徳川家康の関東入国後の天正18年(1590)、代官頭(後の**関東郡代**)となりました。

現在の土木技術と異なり、開削作業はすべて人力で、鍬などで掘り、もっこなどで土を運搬しました。水路を開削する適所を探すために何度も調査し、夜に提灯の火を頼りに土地の高低差を測ることを繰り返しました。用水を引くのは、大変な作業ですが、事業期間は1年ほどで完成させたと言われています。また、洪水や浅間山の噴火などの自然災害によって、備前堀の流れは何度も壊滅的な被害に遭いました。その度ごとに備前堀は復活しました。その復活の歴史は、妻沼西中の南の水道局近くの芝橋の脇に、「**備前渠再興記念碑**」(天保4年(1833))に記されています。

農業用水の備前堀にも、たくさんの水が流れる季節「**かんがい期**」となりました。**備前堀は、地域の誇り**ですが、流れが速く、深いため危険度が高まります。誤って用水路に転落することのないよう十分に気を付けましょう。

<参考> ○ 「伊奈一族の治水 ～江戸水運の土台を築いた忠次・忠治親子～」 荒川上流河川事務所 ○ 伊奈町商工会ホームページ  
○ 熊谷市ホームページ  
○ 2006(平成18)年2月2日に、備前渠用水は、長い歴史や優れた景観を誇る疎水として「**疎水百選**」に選定されました。

# 学校生活の様子



## 【前期中間テスト】

学習計画を立てテスト勉強を行い、一生懸命取り組みました。日頃の学習の成果を発揮することができました。



## 【生徒総会】

生徒会、各委員会から日頃の活動の報告や生徒から質問がありました。



## 【クリーンアップ運動】

学校の校外、校内を清掃しました。写真は、学校北側の県道を清掃している様子です。



## 【修学旅行】

3年生が、京都、奈良へ2泊3日の修学旅行へ行ってきました。写真は、東大寺大仏殿でガイドさんから説明を聞いています。



## 【第1回資源回収】

保護者の皆様、地域の皆様、資源回収へのご協力ありがとうございました。



## 【もくもく清掃】

清掃の様子です。15分間無言で一生懸命清掃に取り組んでいます。

※是非、妻沼西中学校ホームページをご覧ください。  
右のQRコードから見るができます。

